



# 鈴蘭台駅周辺整備を考える会

発行 平成 7 年 1 月 9 日 編集 鈴蘭台駅周辺整備を考える会事務局

ニュース  
第3号

「鈴蘭台駅周辺整備を考える会」  
一年を過ぎて思うこと

## 会 長 田村 達夫

北区の花“すずらん”その花言葉は「幸福の訪れ」、鈴蘭台に住んでいてよかったと実感できるよう、魅力・活力・緑溢れる街にしたい、市も今度こそ懸命だ、地域もこれに應えよう、駅前広場にすずらんの時計台、幹線道路にすずらん灯、シャレタ高層再開発ビル、正夢であってほしい。今年は亥年、区・区民・事業者みんなの力を結集協働し、一路突っ走ろう。

## 副 会 長 木戸 晃洋

一昨年10月に当会が発足し、慢性的な交通渋滞と不法駐車の為歩行者の安全や生活環境の悪化をまねいている駅周辺の問題につき、意見交換や勉強会等に参加させて頂き、駅前ターミナルや周辺道路網の整備、駐車場や魅力ある商店街作り等大変難しい問題ですが、北区の行政商業の中心地として活力ある町になるよう、皆様方と共に考え協力して行きたいと考えております。

## 副 会 長 石田 敏子

私たちの住む鈴蘭台駅前も現在は時代の流れと人口の増加に伴い、人と車で大変混雑致しております。駅を利用するたびにこのままで良いのだろうか、考えざるをえません。北区は大変広範囲の地域であり、又他の地区にない環境の良さを持つ素晴らしい区です。その玄関口である鈴蘭台駅周辺が、未整備で大変な状態です。なんとか大規模な開発のもとに、時代にそくした文化的要素を持つ駅前周辺として、一度は訪れたい町に1日も早い実現のはこびとなりますよう、皆様のご協力を頂き一緒に考えてみてはいかがでしょうか。

## 常任理事 黒川 敏夫

地域の活性化を考える時に、鈴蘭台駅前がこんな状態で将来もよいか、どうしても道路の状態が交通量の増加に対応していくのには限界があり、行政と協力して交通の安全性、利便性を真剣に取り組む必要があります。どうすれば地域の方々と協力してより地域の活性化と商住がスムーズに立地していけるか、将来に向けて相互に協力してすばらしい鈴蘭台にして行けないだろうか、そんな思いから駅前整備を考える会が発足したように思います。これからも鈴蘭台に住んで良かったと言う

まちづくりの為、協働の精神のもと駅周辺の発展を祈念致します。



4面へつづく